



NPO法人

コミュニティかりば通信 第7号



<http://comukariba.sakura.ne.jp/>

2021年7月10日

発行；NPO法人コミュニティかりば

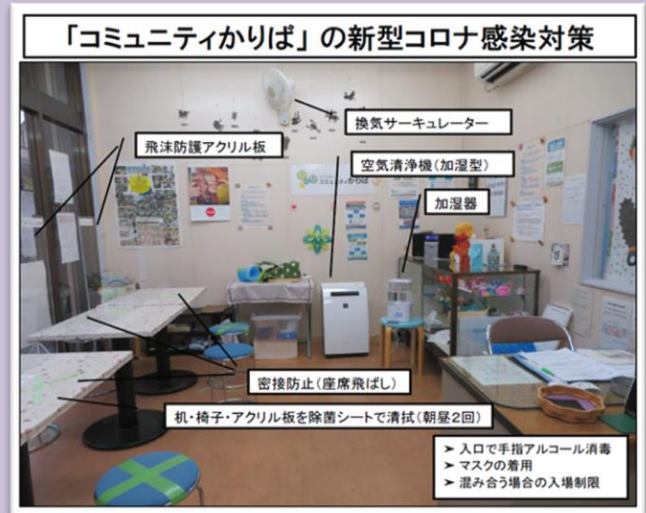
〒651-2272

神戸市西区狩場台 3-9-15

☎080-4646-2552

安心して「コミュニティかりば」をご利用ください!!

▼新型コロナ感染拡大に伴う「緊急事態宣言」により、昨年度4/16~5/6の20日間、設立開業以来初めてとなる全面休業閉鎖を余儀なくされました。しかしながらその後、「健康ひろば」「フリマボックス」は6月から開始し、居場所機能としての「休憩所・セルフ喫茶」は7月10日から「新方式」により全面開業にこぎつきました。▼「新方式」は、NPO法人CS神戸主催の「With コロナ時代における感染症勉強会(6/27)」に参加し、「通いの場×新型コロナウイルス対策ガイド」(東京都健康長寿医療センター)及び「外食業の事業継続のためのガイドライン」(全国生活衛生同業組合中央会)に学び、地域の医療関係者の協力を得て、飛沫防護シート設置を含む感染症対策を徹底し、地域の皆様に「コミュニティかりば」を安心して利用していただけるようにしたものです。▼このコロナ感染対策をしっかり施した「新方式」には14万円ほどの経費が必要でしたが、対策後、事業が順調に継続できた大きな要因と考えています。



「体力向上」「フレイル予防」 自分の体力を測ってみよう!! 知っておこう!!

▼「健康ひろば(健康太極拳・健康ストレッチ)」を開催していますが、その効果を図りながらご自分の体力をつかんでいただく機会があればと、昨年11月15日「かりばプラザ集会所」にて試験的に「体力測定会」を持ちました。当NPOだけで実施することはとても難しく、経験と実績をお持ちの「神戸医療生協西神支部」と共同で取り組むことにより実現したものです。▼入念な打合せを経て「握力」「片足立ち」「10メートル障害物歩行」の3種目を測定し、併せて「血圧」「体脂肪」「指輪っかテスト」測定もしました。健康ひろば参加者だけでなく、医療生協組合員や一般の方たちにも呼びかけられ50人の参加者を得ました。もちろん、コロナ対策を充分配慮しての実施です。希望者には「骨密度測定(実費500円)」「看護師による健康相談」も行われました。▼「体力測定会」が、参加者の健康志向を大切に、数値によるデータを知ることで今後の体力維持のモチベーションに繋がるようなものになればと考えています。そのためには定期的な実施が効果的と考え、今年度から春と秋2回/年を企画しています。春は5月25日(火)を予定していましたが、緊急事態宣言発令により7月20日(火)に変更されました。秋は11月11日(木)の予定です。試験的実施の反省や改良を踏まえ、受付方法・会場設営・スタッフ充実などのほか、測定種目も「長座体前屈」と「足趾力」を加え、骨密度測定も健康相談も前回と同様に行います。▼ステイホームであまり運動をされていない方もお気軽に参加していただきたく思います。NPO コミュニティかりば、医療生協関係者そして健康ひろば参加者有志などのスタッフ一同、十分な準備をして開催したいと思っています。

「新理事9名」「佐野理事長」新体制発足! 「事務局体制」発足!

▼当NPO法人は、設立から7年余りが経過し草創期から安定期に入っていることから、今年5月の役員改選を契機に「理事会」「事務局」に役割を分化し、継続的に発展できる体制を整えました。これまで事務的なことも含めて毎月開催していた「理事会」に替えて「事務局会議」を設置することとし、日常的な業務全般の運営にあたることとしました。「理事会」はNPO法人の基本的事項や重要事項について審議し決定する場としました。▼今年5月の通常総会において役員定数の変更等の定款の一部改正と新理事・監事の選任(右記参照)を行い、通常総会後の「理事会」において「理事長;佐野正明、副理事長;安藤真佐子・日下部幸子、専務理事;足立千鶴」が互選され新体制が発足しました。▼今後とも「安心して住み続けられる地域づくり」をめざして活動を続けていくことを再確認する良い機会となりましたが、この活動がもっと広がりのある活動となるようみなさまのお力添えをいただければ幸いです。

(※ 右記下線が「事務局会議」メンバー)

- 理事
- ① 佐野正明 (理事長)
 - ② 安藤真佐子 (副理事長)
 - ③ 日下部幸子 (副理事長)
 - ④ 足立千鶴 (専務理事)
 - ⑤ 上口米子 (事務局長)
 - ⑥ 森 啓
 - ⑦ 永戸貞男
 - ⑧ 橋本 彰 (外部有識者理事)
 - ⑨ 岩崎俊延 (外部有識者理事)

2021年7月

かりばプラザ トピックス

ヘアサロン ベル

1986年9月にオープン、今年で35年目を迎える事ができました。これもひとえに地域の皆様のご支援のおかげと深く感謝しております。これからも、お客様に喜んでいただけるサービスが行えるように努めますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。当店は、余裕をもってご利用いただくために予約優先制を導入しています。勝手に申し上げますが、ご了承下さいますようお願いいたします。ご来店お待ちしております。



ALSOK

地域の皆様に支えられ、ALSOK西神営業所開設から9年目を迎えました。身の回りの様々なセキュリティ対策を提案していますので防犯・防災等でお悩みでしたらお気軽にお越しください。



「かりばプラザ」ホームページ

<https://om-kobe-shop.info/facility/karibaplaza>

NPO法人コミュニティかりばの財政(2020年度)・訪問者数

2020年度活動計算書の概要

収入(①)		2,888
支出(②)	事業費	2,957
	管理費	184
差引(①-②)		△ 253
前年度末累積剰余金		713
累計		460

主な内容 単位:千円

集会所受付及びかりばプラザ活性化業務受託	1,602
フリマボックス事業	496
お困りサポート事業	241
会費収入	206
イベント収入	0
喫茶売上	132
助成金収入	95
その他	116
活動費	1,973
事務所運営費	331
事業関連費	653
イベント活動費	0

▼2020年度の収支は、収入が集会所受付等及びかりば活性化業務の受託・フリマボックス・お困りごとサポート・会費・寄付等で2,888千円、支出がボランティア等の活動費・光熱水費等の事務所運営費・事業関連費等2,957千円+管理費184千円(支出合計3,141円)となり、差引253千円の赤字となりました。それに伴い、713千円あった剰余金は460千円となっています。

▼前年度と比べて新型コロナ禍で各種収入が大きく減収したことと併せて、アクリル板・空気清浄機・サーキュレーター・除菌グッズなどの感染対策費により支出が増加したことが大きな特徴です。

▼「元気アップかりば」の歳時記的イベントが新型コロナ感染対策が難しくあいついで中止せざるを得ず471千円の減収となり、またイベント協賛事業の「かりば七夕(夜の部)」ピアガーデンや夏祭り・秋まつりの屋台の収入もなく419千円の減収となりました。また、セルフ喫茶も中止せざるを得ない期間もあり93千円の減収でした。▼その中で「賛助会員」は2019年度に続き100名を超える多くの協力者を得て昨年を超える会費収入132千円が確保できたこと、約1ヵ月休止せざるを得なかったフリマボックス事業で昨年並みの収入が得られたことは特筆されます。

コミュニティかりば訪問者数(人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020	517	195	926	937	865	919	963	1,127	1,040	898	906	1,016	10,309
2019	1,099	1,089	1,043	1,008	869	1,037	1,044	1,090	1,021	967	896	1,079	12,242

「かりばプラザ」更新(建替え・増設)へ！⑤

▼昨年11月神戸市からの「お知らせ」が回覧され、「かりばプラザリニューアル」事業者募集を8月3日に開始したが事前の応募予定登録事業者から応募がなかったこと、コロナ禍が長期化し新規商業店舗の誘致が困難になったことによるものであること、今後コロナ感染の状況を見ながら引き続き検討を進めるとのこと。▼コロナ感染が落ち着く頃までの「仕切り直し」の時間に、もう一度しっかりと「リニューアル」の内容をみておきたいです。▼「①商業施設の魅力化」への期待は大きい。商圈はそれほど大きくなく年金暮らしの高齢者も多いけれど、最近では子育て世代の住み替え入居も多くなっており、魅力的な商業店舗の出店に期待したいものです。▼「②多様な世代が居住する狩場台・糺台の実現」では、「新たな高齢者住宅等の整備を…」について、地域の高齢の方々には自分たちが入れられるものになるかしらと期待しています。「高齢者住宅等」には「有料老人ホーム」や「養護老人ホーム」「特別養護老人ホーム」「認知症高齢者グループホーム」あるいは「サービス付き高齢者住宅(賃貸住宅)」や西神中央「ナチュラルー」のような「高齢者向け住宅(分譲住宅)」などいろいろあります。地域の人たちが集まる「近

隣センター」としての「かりばプラザ」に何がふさわしいか事業者さんからの応募提案を楽しみに待ちたく思います。▼「③多様な世代が交流する地域コミュニティ拠点の形成」では、テナント会・地域団体・プラザ経営者・西区役所が緩やかに連携して「かりばプラザ」で行われている「元気アップかりば」の歳時記的イベントは、地域最大の交流の場として大切なものです。そのためには「集会所」「広場」「商業施設」が一体となって機能することが求められます。▼「④周辺環境と調和した利便性の高い施設配置」では、住宅地の中にある「かりばプラザ」で高層階の建物は歓迎できません。また現状では別物となっている「かりばプラザ」と「公園」、周辺の利便施設(郵便局・クリニックなど)と相乗効果が見込めるような「利便性の高い施設配置」になることが求められます。▼2016年から検討が始まった「リニューアル事業」はすでに4年が経過しました。その間、高齢化もさらに進み、子育て世代の入居者も増え「かりばプラザ」への要求も変化してきています。また、西神中央の文化ホール・図書館などの新たな開発整備も動き出し、西区役所も来年春にはプレッティ・ダイエー北側に移転してきます。近接する「かりばプラザ」にも良い影響が出るような「リニューアル事業」に期待したいものですね。